

三田市立幼稚園再編計画（案）説明会概要

【高平小学校体育館：出席者数：67人】

日時：10月10日（土）15：30～18：00

発言者	出席者の主な発言	市の回答（概要）
A	<p>①私は中学校の再編について地域の代表で参加させていただいており、昨年度、市長とのほっとトークで中学校の再編の最高執行責任者は誰かと市長に確認した際、「最高執行責任者は教育長である。」と聞いています。今回の幼稚園の再編計画の最高責任者は市長ではないのですか。この場に部長しか来られていないのはおかしいのではないのですか。中学校の説明会については教育長が礼を尽くされ、地域の皆さんに説明されたのであるならば、最高責任者である市長が来て説明するべきではないのですか。</p> <p>今回の件に関しましても、私は区長もさせていただいていますが、再編計画案について、区長として事前に聞いておりませんでした。区長会をとばして話を進めちゃうような礼を失したことをするならば、今回の説明を聞く必要はないと考えています。また、台風によって説明会が延期になった場合のお知らせは、なぜ区長会を通じて連絡をされたのですか。区長会は小間使いではありません。本来であれば、市が個々に参加されるであろう人々に連絡するべきではないのですか。区長会への事前説明もなく「伸びゆく三田」に計画案を載せるなどの失策、手続き上の不行き届きがあるような説明会には参加できません。</p> <p>私はこの場で散会を提示したいと思います。私はこれで帰らせていただきます。</p>	<p>①我々は、自治会や区長会の方々を小間使いなどとは一切思っておらず、市にとっての大切なパートナーと考えています。</p> <p>台風での説明会の延期等についても、地域にとって大切な話の場を、天候によってどうなるのか心配されているだろうと思い、自治会・区長会の皆様に連絡をさせていただきました。この説明会については、市内からどなたでも参加いただける会ですので、対象の方を特定することは難しく、市のホームページ等に掲載することで対応しておりました。延期ということであれば、職員が会場に参りまして、来られた方々にご説明させていただく体制もとっていました。</p> <p>市長がこの場にはいないことについては、この計画が一旦案ということで、これから皆様のいろんなご意見を伺いながら、課題整理等が必要になってくるかと思えます。ある程度、課題整理ができる中で、市長が出席できる場面ができるかどうかを検討させていただきたいと思えます。</p> <p>まだ計画案の段階ということで、部局の責任者である部長の私が責任をもって対応させていただきますので、説明会を始めさせていただきたく、ご理解願います。議会で説明する際にも、場合にもよりますが、部長が責任をもって説明する場面もあります。役割分担という中で説明させていただきますので、ご理解をよろしく願います。</p>
B	<p>②今日のこの説明会は誰が開催しているのですか。</p> <p>③三田市とは市長が開催しているのですか。この説明会は条例の中で何に位置づけられるものとして開催しているのですか。これは市民参加条例第8条でいう「市民意見を聞く手続きとしての意見交換会」として開催しているのですか。</p> <p>④それを開催できるのは、市長と教育委員会と選挙管理委員会と監査委員会と公平委員会と農業委員会と固定資産評価委員会ですが、そのうちの誰が開催しているのですか。</p>	<p>②三田市です。</p> <p>③市民参加条例の中の意見交換会に該当するものと考えています。</p> <p>④そのうちでは、市長ということになります。</p>

	⑤市長が開催していて、市民参加条例に書いてある意見交換会だと理解したらいいですね。	⑤はい、そのとおりです。
C	⑥ほっとトークに参加した際、今日は1時間で切りますと言われて、本当に1時間で切られてしまいました。今日これだけ参加者がいる中で、予定の2時間では終わらないと思いますが、その場合はどうするのか。延長はあるのか、日を改めるのかということを知りたいです。議論を尽くしたいというのであれば、時間がきたから終わりというのはやめてほしいというのが、市長とのほっとトークのときの私の学びです。そこはいかがですか。	⑥当然議論を尽くしたいというのはおっしゃるとおりですが、エンドレスというわけにもいきませんし、参加者の皆さんの中には、この後ご予定のある方もいらっしゃるかもしれません。一旦は目標として2時間とさせていただき、その中で意見が出せないということであれば、改めて場を設ける必要もあるかと考えていますし、それまでにメールや文書でご意見をいただくことも可能かと思えます。
	⑦この計画について年内に決着したいという思いがあり、12月若しくは1月の市議会に通すということを噂で聞いたが、これが本当なら、先ほどの「議論を尽くす」という言葉は信じ難いと思います。 ゴールが決まっている中で「市民との意見交換会」と言われても納得できないが、今の説明であれば市議会ありき、ゴールありきではないと理解していいですか。	⑦年度内ということについては、確かにそのような形で申しあげている部分がございます。ただそれは、できればということで、計画案にお示ししている予定時期に認定こども園をつくり、いろいろな取り組みをしていくためには、年度内に内容が固まる必要があるという逆算のもとで申しあげています。 幼稚園の課題は非常に待ったなしの状況で、できるだけ早く課題解決をしていきたいとの考えから、最短で可能な時期をお示しする中で、年度内とお伝えしています。
	⑧幼稚園が高平から無くなったら、次は間違いなく小学校の統廃合だと思っています。中学校再編のときに、まずは中学校で、次は小学校という話がありました。当然、高平幼稚園が無くなれば、次は小学校と私はそう思っているし、そう思っている立場から意見を言わせてもらうこともご理解ください。	
B	⑨次回の子ども審議会は何月何日の開催ですか。	⑨子ども審議会の開催予定については、今のところ未定です。
	⑩先ほどこの会は市長が開催する市民参加条例によって開催している会だと認められましたが、市からこの幼稚園の再編計画が、市にとって重要な計画であるということを知っていただいたのはこれが初めてです。今までは「パブリックコメントはとりません」、「説明会は誰がやるかわかりません」という答えだったので、まちづくり基本条例で定める市にとって重要な計画であると認められていなかった。 それを今認めたということは、これは子どもにとって総合的かつ計画的な市にとっての重要な問題であるということを知ったことになるので、子ども審議会において審議されなければならない	⑩この再編計画案についても条例に基づいて、適正に過去から審議を積み上げてきています。ここでどの条例に適合してというようなことは、あえて差し控えさせていただきますが、少なくとも市としては条例に基づいて適正に議論を積み上げて、今ここに至っています。 先ほどの子ども審議会での審議については、再編計画について意見が出たり、情報提供をしていることはありますが、基本的には別の枠組みの中で、教育委員会のときからずっと議論してきています。子ども審議会の中でも認定こども園化をするというような位置づけもあったと思いますが、その中ではどこの幼稚園を統廃合するか具体的な議論は行っていません。 そういう意味では、今回この計画案にたどり着いた経緯というのは、子ども審

	<p>事項になったということを意味すると思うが、そう認識しないのですか。それとも子ども審議会を通さずに、ここだけで終わらそうとする計画ですか。</p>	<p>議会とは別の教育委員会からの附属機関の審議や答申、教育委員会の中での基本方針の策定、部局が補助執行ということで市長部局に移りましたが、市長部局の中でも議論して、今現在に至っています。もっと言うと教育振興基本計画の中で議論して、その流れの中で今日に至っていますので、子ども審議会の中での議論とは別立てで動いているということをご理解いただきたいと思います。</p>
D	<p>⑪皆さんに聞くと、この計画案について「伸びゆく三田」で初めて知ったという人が多いです。幼稚園を認定こども園にするというようなことは、そこに通わせている保護者やPTA、地域でこれから幼稚園に行かそうとしている人や私のように移住を促進している人、そういった人や住民と一緒に考えていくことはできなかったのですか。教育委員会が考えたというが、なぜそこに至るまでに、もっと手前から住民が参加できないのですか。そのあたりをどう考えていますか。</p>	<p>⑪今まさにこの再編計画案について、市内7地域で説明会をさせていただいています。皆さんにご参加いただき、いろいろな意見や思いを聞かせていただくのが今の時期であり、この場であるのご理解いただきたいと思います。</p> <p>それ以外にもパブリックコメントで、広く皆さんの意見をいただく機会を予定していますので、その中でご意見いただけたらと思います。</p> <p>また、基本方針や教育振興基本計画の際にも審議会の中には市民の方も参加していただいております、パブリックコメントを実施し、いろいろな意見を伺いながら作ってきた経緯もございます。今はまだ計画案の段階ですので、広く皆さまの意見をいただきたいと思います。</p>
E	<p>⑫説明を聞かせてもらって、明らかに高平の過疎地域の切り捨てとしか思えないです。人数と言われていますが、三田市全体として過疎地域をどうしていくのかという前向きな発想が一つも見えてこないです。郷づくり協議会など、若い人を地域に呼ぶ活動をされている人がいます。そういう方と一緒に、地域をどのように活性化させていくのかという発想が欲しいです。執行責任者である市長が全体を把握されていると思いますので、幼稚園の問題ではなく、全体的に活性化させていくというようなことを常に話し合っていたきたいと思います。</p> <p>幼稚園、小学校がない地域に若い人は引越してきません。私も幼稚園、小学校がないところは除外します。NPO法人など、そういう活動をされている方と一緒に子ども・未来部だけの問題ではなく、全体的な問題として話し合っていいただければと思います。その延長線上で、幼稚園の問題も自然とみんなの意見交換の中で固まってくると思います。</p> <p>この説明会で終わるのではなく、次回はぜひ市長に出席していただいて意見交換の場としてもらいたいと思いますがいかがですか。</p>	<p>⑫幼稚園の問題ではなくて、地域全体の問題であると、人口がどんどん減少していく中で、いかに地域の活性化を図っていくのかということは大変切実なお話だと思います。確かにその部分につきましては、市全体で取り組んでいかなければならない問題ですし、地域とも連携していかなければならない問題です。</p> <p>今現在人口が少なくなる中で園児数が少なくなり、教育環境として少人数であること自体が問題であるということで、今回提案させていただきました。少人数の地域であっても、ひとつにまとめて適正な集団規模を確保することで、幼児教育の環境として高めていける。そして、通園の手段なども組み合わせることによって、地域にお住まいになりながら幼稚園に通っていただいて、そこで幼稚園としての教育を受けていただけるということで今回提案させていただいています。</p> <p>ただ、おっしゃることにつきましては、そのとおりですので、意見として持ち帰らせていただきたいと思います。</p> <p>市長の出席に関しましては、先ほど部長が申しあげたとおりでございます。そのあたりにつきましても、ご意見を持ち帰りまして伝えていきたいと思っています。</p>
F	<p>⑬私は高平に住んで40数年になります。確かに志手原よりは交通の</p>	<p>⑬志手原ありきでは納得できないというご意見でした。これはあくまで案という</p>

	<p>便は悪いですが、高平は自然がいっぱいで、地域の子どもたちを地域の人たちが育てるという取り組みをしています。</p> <p>私としては志手原幼稚園ありきでは困ります。これは、ここにいる高平住民、みんな一緒だと思います。志手原ありきでは多分、母子、小野、高平は納得できません。</p> <p>高平は確かに交通の便は悪いですが、団地もできて、高平の良さを知って引越しして来られている方も大勢います。そして、親元と一緒に暮らそうということで、Uターン組もたくさん増えていますので、高平幼稚園、小学校は人数的には横ばい状態です。</p> <p>先ほどの話の中で、志手原幼稚園は交通の便が良いからということでしたが、志手原から高平までは、バス、車で10分です。そんなに不便なところですか。私は不便だと思っていません。私個人の意見ですけれども、何もかも市街地に近いところで幼稚園や小学校をつくる必要はないと思います。</p> <p>財政的に苦しいのであれば、見直しも必要ですが、田舎にこんな環境の良いところがあるのに、それを潰してしまうのはとんでもないことです。</p> <p>私の希望としては、高平幼稚園、高平小学校を田舎にあるモデル校として残していただきたいと思っています。そして、ニュータウンや市内の幼稚園や小学生と交流をもつ、これこそが三田市が唱えている田園文化都市ではないのですか。</p> <p>子どもたちのことを一番に考えること、幼児教育を大切に考えることこそが三田市の未来につながると思います。三田市は子育てしやすいまちを一番にうたっています。私の子どもも三田が住み良いということで、ここでずっと生活していますけれど、その子どもたちの想いを裏切らないでほしいです。そして、高平のこの親たちの想いを踏みにじらないでほしいです。</p>	<p>ことでお示ししており、いろいろな想い、ご意見等をいただきたいと思っております。そして、今言っていました高平の良いところ、その良さを生かした幼稚園、確かにそういうことも言えるのかなというふうにお聞きしていました。</p> <p>今回の再編計画案につきましては、今の課題を解消していくための方策としてご提案させていただきました。今回、ご意見をいろいろお聞かせいただいているところですので、持ち帰らせていただきたいと思います。</p>
G	<p>⑭言葉の教育に仕事として関わっていますが、教育環境に課題があるという根本的なところで、それはどこから出てきた、どういうデータに基づいて言われているのかというのをお尋ねします。特に人数です。論文をいくらか読みましたが、人数よりも他の要因が非常に大きい。教育機関なども出していますが、自分の子どもを通わせていても、少人数であればあるほど発話の機会は増えますので、子</p>	<p>⑭私はこれまで幼稚園の教育に携わってきています。データというものはなく、私自身がこれまでの経験していく中で感じていることを少しお話させていただきます。</p> <p>少人数の中でも、子どもたちは伸びる芽をしっかり持っていますので、環境を整えることで、子どもたちはどんどん伸びていきます。しかし、子どもたちの育ちにとって、ある程度の集団というのは必要だと感じています。</p>

	<p>どもが小さければ小さいほど、言葉の教育は少人数のほうが良いというデータも結構あります。</p> <p>例えば、認定こども園になって一日中子どもが幼稚園にいるということになれば、親とはあまり発話できないですね、会話できないわけです。そういう子を預かる場合は、よりきめ細やかな少ない人数での教育が必要になるはずなので、今の高平の規模で十分であると私は思います。人数が増えるのであれば先生方を増やしていただく。長い間預かってほしいという親のニーズもありますので、それをこの場所でどう実現するかということを考えていただくべきだと思います。</p> <p>前半の教育理念や教育環境の部分の説明がはっきりいって薄いです。後半の効率的なとか長く保育をするというところのポイントはよくわかるのですが、子どもにとって人間関係を作るいろんな機会が少ない、いろんな人と出会う機会が少ないというのは、一体どこからデータとして出てきているのですか。少なくとも、高平幼稚園では、多様な年齢の人が幼稚園教育に関わっています。今も子どもたちは外で小学生と幼稚園の子どもや、もっと小さい子どもも交じって、もうすでに顔見知りなのです。それで遊んでいるわけですが、そういう関係性がなぜ作られているのか。</p> <p>幼稚園の先生方は、遠慮して市にあげる幼稚園の評価のレポートでもご自身たちがやられていることをすごく簡単にしか書いてないのですが、実は本当にすごい教育がされていると感心して見えています。是非それが続けられるような仕組みを考えていただきたいと思います。</p> <p>端的に言うと、教育環境が課題であるというのは一体どこのエビデンスなのかということです。</p>	<p>子どもは子ども同士の関わりの中で育っていくことが非常に多いと思います。友達のしていることを見て、自分もやってみたいという刺激を受けたり、会話を交わりたい友達がいるから言葉が出て、そこで思いを伝え合う、考え合うというような言葉の発達や思考能力の発達に繋がっていくのだと思っています。</p> <p>幼児期はいろんなことで刺激を受けて心が育っていく時期だと思います。そのような時期にいろんな友達がいるということを知る。家庭から離れた子どもたちが幼稚園に来て、いろんな人がいて、いろんな考えがあるということに触れていくことはとても大切だと思っています。その中でいろんな立場を経験するというのも大切だと思っています。</p> <p>例えば、友達と喧嘩をして、悲しい思いをしたり、またそこに仲介して入っていくなどいろんな立場を経験することが大事だと思っています。少ない人数であると友達同士の関わりが固定化してしまいがちになるところが課題だと思っていますので、ある程度の友達との関わりというのは非常に大切だと思っています。</p> <p>そして、先ほども少しお話させていただきましたが、子どもにとって遊びはすごく大切です。幼児期に遊び込む経験というのは、非常に大切だと思っています。</p> <p>自分がこれをしたいと思っても、人数が少なすぎると一緒に遊ぶ友達がいない。砂場で遊びたいと思っても、砂場で遊ぶ友達がいない。鬼ごっこに行きたいと思って、鬼ごっこの方に移ってしまうと、砂場で盛り上がっていた遊びが途切れてしまうということが起こりがちになります。子どもが遊び込めるような人数は、やはり確保していきたいと私自身は考えています。</p>
	<p>⑮確認ですが、特に証拠はないということですね。人数に基づいているものはないということですね。</p>	<p>⑮はい。</p>
<p>H</p>	<p>⑯エビデンスがないということなら、保護者のニーズとして、この人数では幼児教育が不安だから人数が大きいところが良いという意見は挙がっているのですか。私はこの少人数で幼児教育をしていたことが本当に良かったと思っています。</p>	<p>⑯高平ということではないですが、保育所のニーズは高まっているを感じています。実際幼稚園に在籍しているお子さんが、おうちの方がお仕事をしたいので、残念ですけれど退園します、保育所に移りますということも今まで何度か耳にしてきたことがあります。</p>

	<p>子どもが小学生のときに高平に引越してきて、その前は1学年150 数名、千人規模の小学校に行っていました。そのときには、その他大勢だった子どもが、高平では自分に役割が与えられて、自分が主体的にできたのが良かったと言っています。自分が主役になって一人一人に役割が与えられる。そういうことは高平幼稚園でできると思いますし、先生方、地域の方、保護者の方が、子どもたちにそういう経験ができるように保育、教育をされていると思います。そういう現場を見ずして、人数が少ないのは良くない。エビデンスもない、ニーズもない、何でこれを行っているのかと思いますが、そのあたりはいかがですか。</p>	<p>保護者のニーズに応じていくことで子どもが保護者の就労の有無にかかわらず通園できる施設というのは、これから必要であると感じています。</p>
B	<p>⑰高平の親のニーズの話をしています。三田市一般の話ではなくて、高平にこの規模で、幼稚園を残してほしいというニーズの話をしているので、これに対して答えをお願いします。</p>	<p>⑰, ⑱ご要望ということで、ご意見があったということは持ち帰らせていただきます。</p>
H	<p>⑱高平で3歳児保育、認定こども園をしてほしい。私はそう思っていますが、皆さんにそういうニーズがあるのかということをもとに聞いていただきたいです。それをずっと最初から質問された方、地域の方は皆さんそう言っているのだと思います。</p>	
C	<p>⑲持ち帰り案件が多いですが、次、いつ、誰が説明してくれるのか。先ほど、パブリックコメントとおっしゃっていますが、パブリックコメントが行政の施策に反映された試みがあるのかを知りたい。これまでに結構書いたことがあります、パブリックコメント出しました、一行返ってきました、コミュニケーションではないです。 ここは非常に重要なところなので、次、いつ、誰が今日持ち帰ったことに対して説明されるのか。若しくはそれまでに私たちと話をするのか。これは今日決めてほしいと思います。</p>	<p>⑲個人的にどの課長がとか部長がということではなく、市としてご説明を改めてさせてもらいたいと思います。ただ、この場でいつということは、申し訳ないですが、お約束はできません。そういう意味で持ち帰りということでご理解いただきたいと思います。</p>
	<p>⑳後日、こういう場を設けてくださるという理解でいいですか。</p>	<p>⑳そういうご要望ということですので、改めて場を設けます。時期については、各地域、全部回ってご意見を集約し、庁内で市長、教育委員会も含めて場を設けた中で検討し、お伝えしたいと思います。</p>
I	<p>㉑住民ありきの行政だと思うのですが、その住民が大きなショックを受けるようなやり方ではなく、ショックを与えないやり方をもっと考えられないのか。行政は何にフォーカスしているのか、誰にスポットを当てようとしているのかが見えてこず、行政サイドのご都</p>	<p>㉑貴重なご意見ありがとうございます。住民の皆様からいろんなご意見をいただいておりますので、住民に寄り添った行政、これは当然のことだと思います。 この幼稚園の再編においては、より良い教育・保育環境を目指しており、三田市の今の実情、将来を見据えた中では、今の公立10園、特に農村部で小規模な園</p>

合主義というのが目に付くところです。今のやり方はレールを敷いて行政側の目的地へ突っ走れということしか見えてこない。パブリックコメントありき、オンリーではなく、こういった形で出向いて行って顔の見える関係で話し合いができたらという思いを持っています。

高平幼稚園に預けている保護者、高平幼稚園以外に預けている方の思い、将来的に高平幼稚園や、幼稚園以外に子どもを預けようとする方の思い、そんな思いをどこまで行政が掴んでいるのか。高平の住民に寄り添った行政をお願いしたいというのが一番大きな話です。

子どもは地域で育つとよく言われますが、私は地域で育つのではなく、地域が育てるという形で今やっています。小学生、中学生、幼稚園もみんな高平の環境と人が、一日一日、一年一年育てていって大きく成長していつているわけです。地域の中に家庭や園があって、家庭と園を往復していて、そのつながりを地域が見守って、育てていつていると捉えていますので、地域にとって学校・園というのは重要だと思っています。

二つ目として、私たちは同志の方と高平を理想郷にしようと一生懸命活動しています。その理想郷というのは、高平に今いる人間だけではなかなか実現できないです。いろんな繋がりがあってこそ実現できる話で、同じものを見るにしても、違う見方の人間と一緒にここで地域づくりをやっていくことに幸せを感じています。

三つ目としては、幼稚園・保育所・小学校・中学校の人間関係づくり。高平幼稚園でいえば、地域の方と一緒に山すその梅を採って保護者と幼稚園児が梅干を作ったり、大根を抜かしてもらってたくあんを作ったり、かまどでご飯を炊いてそれを味わうという一般的な生活ではあり得ないような、ひと昔前の体験もできるのが高平幼稚園という気がします。

園に訪れた際に、子どもたちと一緒に遊んだり、見たりしていると本当に優しく友達思いで、私のことも気遣ってくれて、涙が出るくらいうれしい幼稚園でした。そんな子どもたちが大きくなってくれることを楽しみにしています。

それと人間関係ですが、見えないことと見えることがあります。

が分散してある状況が良くないのではないかとということで、再編・統合によって、認定こども園化、そして適正な規模を維持できるような方向に進みたいということでご提案しています。そうしようとすれば今のような思いやご意見があることはおっしゃるとおりだと思います。

高平幼稚園の今後につきましては、ご提案させていただいているのは再編ということですが、今おっしゃられたような思いは大事にしていかなければならないと考えています。

地域との関わりや人間関係も非常に大事なことだと思っていますので、いずれの方向に進む場合でも、引き続きしっかりとやっていかなければならないことだと考えています。

たくさんご意見をいただきましたので、持ち帰りさせていただきたいと思いません。

	<p>見えることでいえば、掃除をすることや運動会などがあり、見えないことでいえば、例えば何気ない見守りとか、あるいは作物を植えるのであれば、それ以外に耕したり、植わった後の草引きなど、いろんなことがあると思うので、そういったことが園児に影響するのではないかと考えています。</p> <p>市長とのほっとトークで市長が言われていたが、朝日新聞の「AERA」で、コロナ後の移住先ランキングで関西では三田市が第3位に入った。子育ての部分であと3点アップされると三田市が第1位で3つ並びとなっていたので、子育てにもっと力を入れていくべきではないかと思っています。ここで子どもたちがこれだけ良い空気と水と環境と人の中で育てば、本当に良い人間になるのではないかと考えています。</p> <p>私の育ったところは、12軒ほどのところで、近所で遊ぶ子どもといえば悪ガキだけでした。市は多い人数の方が良いとおっしゃるけれども、3～6人でも決して悪く育っていないと思っているので、そのあたりの良さも認めていただければ嬉しいです。</p> <p>遊びの重要性と書いてありましたが、遊びといっても、業者が作った道具で遊ぶのではなく、本能に基づく遊び、名前のないような遊びが大切だということも言われています。</p> <p>例えば、泥だんごを作るときに、ぬるぬるした感触やべたべたした気持ち、あるいはざらざらとか、そういった感性に訴えるような遊びも高平では十分に楽しめると考えています。</p> <p>今後いろんな回答がくるとは思いますが、考慮していただけたら嬉しいと思います。</p>	
J	<p>②人数について、小規模や適正人数という話がありましたが、やはり第一に考えていくのは子どもがいかに安心して幼稚園生活を送っていけるかだと思います。先ほどの話にあったように、遊びたいときに一緒に遊べる友達がいなかったり、行事のときに人数が足りないからできないということになってしまうと子どもの悲しい思いに繋がってしまうし、人数が少なければ少ないで工夫していけばできることもあるかもしれないですが、それなりの一定人数がほしいという保護者の考えや子どもの気持ちもある程度あると私は思います。</p> <p>高平はすごく良い環境で、皆さんがおっしゃっているように、本</p>	<p>②それぞれの幼稚園で特色のある取り組みをしようということで、高平幼稚園においても自然との関わりや地域の方々との関わりを特色として、本当にたくさんの方々に支えていただきながら、素晴らしい教育をしていると考えています。</p> <p>公立幼稚園は小学校の校区、高平でいえば、高平小学校の校区の子どもしか高平幼稚園には通えなかったのですが、平成22年度に園区外からも希望される方は来ていただけるようになってきました。園区外からの受け入れは行っていますが、これまでニュータウンから高平幼稚園に来られる方は、多いときでも年に1～2人という状況です。</p> <p>そのような状況も踏まえ、これから先のことを考えたときに、今回の案を提案</p>

	<p>当に地域全体が育ててくれるという環境でもあると思います。</p> <p>ただし、減ってしまう人数を増やしていくことはどうしてもできないし、移住者を急激に増やして、子どもを増やすということもなかなか難しいと思います。</p> <p>例えば、この地域の特性を生かして、三田市立の「森の幼稚園」をつくって、市街地から子どもを集めたりする方法はないのかと思います。自然豊かなところで育てたいという親も多いと思います。市街地から車で30分ぐらいで通える地域なので、親の負担も多くななく、子どもを自然の中で育てたいというニーズもある程度あるのではないかと思います。</p> <p>この幼稚園をそのまま使うことで市の財政的な負担も少ないと考えるのですが、そういうところはどうにお考えですか。</p>	<p>させていただいていますが、今いただいた意見も参考にさせていただきたいと思っています。</p>
K	<p>㊸私は、もともとはこの地域に住んでいましたが、一旦ここを出て、大阪に住んでいました。そして、大阪からまたこの土地に戻ってきました。それはなぜかという、自分が育ったところがすごく育ちやすく、子どもを育てるならこんなところで育てたいという自分の思いがあったので帰ってきました。</p> <p>この中に同級生や同級生のおじさんなど、知った人がいっぱいいます。こういった繋がりが持てる地域というのは、高平が三田市の中で唯一ではないかと私は思っています。そういった地域で幼稚園を無くしてしまうと、今後この地域に人がいなくなってしまうことが一番心配です。</p> <p>先ほど市役所の方がおっしゃっていた保護者のニーズとは一体何ですか。保護者のニーズは子どもが安心して安全で学ぶことができます。</p> <p>本音を言いますと、人数が多いに越したことはないですが、人数が少なくても、その中で子どもは、自分たちの中で自分たちの社会を見つけて協調性を磨いていくと思います。</p> <p>ここの地域の子どもが減ってしまったから運動会ができないというだけではなく、周りの幼稚園を巻き込んで大きな体育大会のようなことを開催したり、子どもが少なくなっている周りの地域も協力して、地域全体を盛り上げていくという活動に持っていった方がいいのではないかと私は思いました。</p>	<p>㊸計画案ということでご提示していますので、これに固執するというものではございません。ただ、再三申しあげている現在の課題を解決するための方策としてご提案していますので、それを実際に解決していくには、何らかの方策が必要だと考えています。</p> <p>計画案につきましては、このような形でご提示していますが、その内容につきましては、ご意見を踏まえる中で修正する部分や取り込んでいくような部分があるということでご理解いただきたいと思います。</p> <p>地域の子どもの数が減る中で、少人数であってもしっかりと育つというご意見でございますが、確かにそういうことも言えるのかもしれませんが。私どもとしましては、日常の幼稚園の毎日における集団規模はやはり一定の数が必要ではないかと考えています。</p> <p>行事を各園が集合してやればいいのかというのも一つのご提案だと思います。日々の教育、保育の中でこういった集団規模で教育環境を整えていくかということ以案として申しあげています。</p> <p>ご意見等は当然あるかと思っておりますので、そういったことを含めて、検討してまいりますのでご理解をお願いします。</p>

	<p>行政の方は、先ほどからも持ち帰りますとおっしゃっていますが、私は行政をあまり信用していません。いったん決めたことはこうだからと窓口で絶対に跳ね返されます。そういう経験がつい最近にもありました。「これ何とかありませんか、子どものために」と窓口に問いかけましたが、「無理です」と言ったきりです。</p> <p>今回のこの案が出て、この状態で認定こども園ができてしまったら、その中でしか対応できないことがあります。そこの不具合は、絶対に市は対応してくれないという不安があります。そこについてどうですか。</p>	
L	<p>④私はこちらに移住してきました。一番の決め手は自然の豊かさとおこの地域の人柄、人が本当に優しく受け入れがすごく大らかだということでした。</p> <p>いつか子どもたちがここに帰ってきたい場所であってほしいと思い移住してきました。そうすることで、ここの人口が増え、豊かな里山がずっと守れるのではないかという思いもあり、一つの決め手として移住してきました。</p> <p>この間、幼稚園が無くなるという話を聞き、子どもはいつかこちらに帰ってくる気も少しあるみたいですが、幼稚園が無くなるようになったらというような話もしていました。</p> <p>私は幼児教育に関係させていただいて、先ほどからおっしゃられる人数が多いことが大事という意見もありましたが、私は経験上、少人数であったとしても、その保育現場、教育現場である教員、若しくは保育士、それから地域の方々、親との関係によって変わってくるのではないかと考えています。一定人数があれば子どもたちが育つのではなく、現場でものすごく工夫されていると思うので、そこは大事にされてもいいと思いました。</p> <p>認定こども園を高平でという話があり、とても賛成だなと思って聞きました。この豊かな自然の中で、また温かい地域、人の中で子どもが安心して育つ場所というのはやはり地域だと思います。私は長い間やってきた中で、地域の中で子どもは育まれるものだ。そこに育って、そこで学校に上がってという縦の繋がりがある中で、子どもが豊かに育つと思っています。</p> <p>また、高齢者の方とも関わらせていただいています。寂しくさ</p>	<p>④高平の良さを皆さんと同じように語っていただきました。こういったところで住むことが子育ての環境としても非常に良いということはおっしゃるとおりだと思いますので、そのことを決して否定するものではございません。幼稚園の関係でいうならば、ここに幼稚園が今あってそれがそのまま残ることが望ましいということだと思います。</p> <p>私どもがご説明していますのは、このままでは少人数になってしまって良くないということで、再編・統合という形で、ここにお住まいであるけれども、ここから通園していただいて、認定こども園をご利用いただくという形にしてはどうかというご提案をしています。</p> <p>どちらがという話になると、どちらかをすればそのあたりについて影響が出てくるというのは間違いのない話ですので、ご意見も踏まえながら判断をしていく必要がありますし、どのような形になるにしてもおっしゃられた意見をしっかりと受け止めて進んでいかなければならないと思っていますので、ご理解をよろしくお願いします。</p>

	<p>れている地域の高齢者も含めて、子どもと関わる場ができるのがこの高平ではないかと思っています。</p> <p>未来を見据えたこの高平若しくは三田の行政を考えてもらえたり、ここから未来に向けて、やっぱりここに来てみたいとか、三田に住みたいと思える、こういうところで子どもを育てたいという方はいると思います。</p>	
B	<p>㉕子どもの数が少ないので、統合しましょうという話ですが、人が増えれば、しなくていいわけですね。その人を増やすために一番ネックになっているのが、私は農地法と都市計画法の縛りだと思います。この問題については、度々農会の方などから陳情にあがっていると思いますが、全く検討されていないとしか思えない状況です。</p> <p>この問題は、子ども・未来部だけで進めている話ですか。それとも他の部署と連携をしながら、人口減を食い止めて、より人が多く住めて、多くの方がここで教育を受けることができ、子どもが育って、まちづくりをしようとしている体制にあるのですか。この計画を進めている体制について教えてください。</p> <p>㉖それであればその土地の管理をどのようにするかということは何か検討されて、その結果を見て、それでもやはり統合しないと駄目だという順番にするのが普通の考え方だと思います。</p> <p>まだ1回も検討もされてない中で、まず幼稚園だけ無くしましょうというのは一体どういうロジックなのか、少し理解できません。</p> <p>㉗高平住民にとって、緊急の課題として、人数が少な過ぎることを全く問題にしてないとなったら、統廃合する理由はないということではよろしいですか。</p>	<p>㉕先ほどの農地法や都市計画の話について、幼稚園の問題だけでなく、いろんなところでご意見がありまして、市でもそのことについては受け止めているところです。そして、人口が少ないという一因であるというご意見でございます。人口が少なくなっているのは、社会的な部分もございますが、そういった部分もあるというご指摘は事実でございます。</p> <p>この計画は、幼稚園の現状において課題があり、それを緊急に解決するためにご提案しています。そもそも人口が少ないのはなぜなのかというご意見もございます。それはこの計画の中ではなく、市全体の中で検討してまいりたいと思っています。</p> <p>㉖幼稚園の話につきましては、今の園児数や各園の現状を踏まえまして、早急に対応が必要であるということで進めています。まちづくりの問題につきましては、並行して進めないといけないと思いますけれども、結果を待つということであれば、この幼稚園の現在の問題について取り組みができないというのが現実のところでございます。この問題につきましては、地域の問題ということでは一緒ですが、現在の幼稚園の課題を解決するためにご提案しているということでご理解いただきたいと思います。</p> <p>㉗人数が少ないということと、適正な規模で教育環境をつくるということは関係してきます。現在そして今後、少子化が進んでいくことが予測される中で適正な規模を確保していくというのは、三田市全体の農村地域の市立幼稚園の課題でございます。</p> <p>高平地域につきましても現在も少しずつ地域の子どもの数が減っている部分と、もう一つは保育ニーズの部分でございます。現状のままでは幼稚園がニーズに対応できていないということがございますので、そういう部分の対応をさせていただきたいということでございます。</p>
	<p>㉘先生にお伺いします。地域の住民は、これからの人口の推移を見</p>	<p>㉘個人で仕事をしているわけではなく、組織でもって動いていますので、直接個</p>

	<p>でも、あとしばらくは十分に豊かな教育が高平で可能だとみんな思っています。先生の専門的なお立場や長年の経験から、高平では多様な子ども同士の関わりはもう無理で遊び込む子どもの教育はできないと実感しているのですか。</p> <p>この計画に携わっている幼児教育の専門家は先生だけで、後はみんな市役所の方です。高平の教育現場を実際に知っていて、その効果や悪いところから良いところまで全部知っていらっしゃるのは先生しかいないです。先生の教え子の皆さんの保護者からは、先生がそんな判断をされるとは思っていなかったと涙ながらに訴えられました。</p> <p>先生は10人ぐらいの子どもになってしまったら高平では、教育は無理で統廃合した方が絶対がいいとお考えになってこの案に賛成されているのですか。</p>	<p>人のお話になることをこの場では一旦差し控えさせていただきたいと思います。</p> <p>あくまでも、庁内でもいろんな意見がある中で合意形成を取って、市として一旦案をまとめたということでご理解いただきたいと思います。</p> <p>専門性という意味では、当然教育委員会とも一緒に話をしています。市の所管は私どもになっていますが、これは教育に関わる問題でもありますので、教育委員会の指導主事、そういう専門性のある職員とも議論する中で進めておりますので、その部分についてはご容赦いただきたいと思います。</p>
M	<p>㊟以前に幼稚園のPTA会長をさせていただいたときに、この再編計画(※「三田市立幼稚園のあり方に関する基本方針」と思われる)があるというお話をいただきました。そのとき、この幼稚園も他の幼稚園の保護者の皆様も驚かれて、すぐにパブリックコメントを出されたことを私は聞いています。</p> <p>それから時がたって、本年度中に決着をなさりたいというお話であったと思いますが、私が会長をさせていただいた後、子どもは卒園して小学校に入っていますが、具体的な経過について、幼稚園や市の方からも特に何の音沙汰もありませんでした。そして急激にことが動いているように私には感じられますので、それが一つ気になることです。そのことについての回答は結構です。</p> <p>私が申しあげたいのは、この地域はニュータウンを造成したために農地を住宅地に転用することができないという縛りがずっとあります。ここで生まれ育った方がここで住みたいけれども、その縛りがあるという話を何回も聞いています。</p> <p>ここにはNPO法人で移住者を迎え入れるという活動を活発にされている方もいらっしゃいますので、ここで子どもを育てる幼稚園や小学校を残していくという方向に考えをシフトさせていただきたいと思っています。</p> <p>今このコロナ禍の中で、大人数の中で教育することが、本当にそ</p>	

	<p>れが全ていいのか。自然の中で伸び伸び子どもを育てられることを私は非常に感謝しています。回答は要りませんが、そのことをよく考えていただきたいです。</p> <p>幼稚園だけの問題ではなく、地域の問題として、人口が足りないのであれば、いろんな方面から改善していく策があるはずなのに、それを三田市が行っていないことが私は問題だと思っています。</p>	
N	<p>⑩私の子どもは、引越しと私の仕事の都合で幼稚園4園に通いました。結果的に私も子どもも高平幼稚園が一番良かったと思っています。人数の多い園も経験しましたが、少人数の方が個性を發揮できるのではないかと思います。</p> <p>子どもに「お母さん小学校に行ってくるよ」と言うと、「何で」と言ったので、「高平幼稚園が無くなるかもしれないからお話を聞きに行くんだよ」と言うと、子どもは「絶対いや。高平幼稚園を無くさないで」、「絶対あかんと言ってきてよ」と言いました。</p> <p>それぞれ幼稚園はいろいろ良いところがあると思いますが、高平幼稚園で何が一番素晴らしいかという、地域の皆さんに支えられていて、私の知らない地域の方と子どもが知り合いになっていて挨拶をしています。地域の方と子どもが繋がっていると安全面でもいいことだと思います。</p> <p>地域の中には幼稚園再編に賛成の方もいらっしゃると思います。反対の中でも、「このまま幼稚園の園児数が少なくなっていくと運動会もできないよね」、「ちょっと再編も考えないといけないよね」と言っている方もいます。</p> <p>ただ、こんなに反対意見が出ているのに、強引に進められているようにしか見えなくて、今すぐでなくてもいいのかなと思っています。地域の人が市と一緒に考えていけたら嬉しいと思います。</p>	<p>⑩いろんなご意見があるということはおっしゃるとおりだと思います。市が時期を決めて計画をお出ししている背景は、今待ったなしの状況という課題意識でしています。今でなくてもいいのではないかというご意見につきましては、一旦受け止めさせていただきたいと思います。</p>
O	<p>⑪市が盛んに言われているのは、端的に言うと、今やらなくてはもう間に合わないということだと思います。それでこういうスケジュールも含めて提案をしていると言われていますが、三田市のまちづくり基本条例の中には、市民の意見を計画段階から聞いて進めていくということがはっきりとうたわれています。今回説明会があって、11月にはパブリックコメントを取るとおっしゃっているが、今日の</p>	<p>⑪今年度という部分につきましては冒頭申しあげたとおり、喫緊の課題であるということで、できるだけ早期に進めていくには、具体的にはこの時期にはということ、それを逆算すると、今年度には一定結論をという形の中でご説明をさせていただきました。しかしながら、それについて今後、どうなっていくかというのは、今のところ決定しているものではございません。あくまで今のところの私どもの最短で進めていく場合の想定ということでございます。</p>

	<p>話の中で必要があれば説明会を持つ、持ち帰りだけではなく、また持ってきて進めるとおっしゃっている。今日はこの場で意見を言って、人の意見も聞きながら、自分も頭の中で整理をし、また自分で考えて発言するということができますが、パブリックコメントというのは一方通行です。パブリックコメントで広く皆さんの意見をしっかりと聞いていくとおっしゃっているけれども、ほとんどが聞きっぱなしです。</p> <p>もう一つは、新たに今後まちづくり計画をするということで副市長が2人になりました。そうであれば、市街化調整区域について検討する中で、幼稚園の問題、小学校の問題を進めていくべきではないかと思えます。急ぐべきではない。</p> <p>今幼稚園が大変だから、今やらなくてはとおっしゃるけれども果たして本当にそうなのか。もっと長期的にそして総合的に物事を判断していくことが必要であるのに実質的には今年度で決めますということ宣言されています。進め方自体がものすごく問題があるということ指摘してそれに答えてください。</p> <p>本当に決めていこうとするのであれば、もっと多様な意見があるはず。今日は反対の意見が多いわけですが、賛成の方もおられますので、反対の意見だけではなく、賛成の方の意見ももっと入れるようにしていく。もっと違った意見もあるはずだと思います。そういうことをやろうとすれば、少なくとも1年2年かけて十分な意見を聞く必要があります。子どもの意見はどうやって反映されるのか。かつて市長は、子どもは判断能力がないとおっしゃいましたが、とんでもない発言です。子どもだって子どもなりに一生懸命考えています。子どもの意見をしっかりと聞いていく、保護者、そして地域の高齢者の方にとっても大切な問題ですから、さまざまな立場の人、さまざまな年代層の方の意見を聞くことが必要です。そのためには、来年4月までに決めてしまうというのは、これはあまりにも強引なやり方だと思いますので、一旦は立ち止まることを提案します。</p>	<p>パブリックコメントのあり方について、一方通行ではないかというご意見いただきました。捉え方はさまざまありますし、意見が反映しないことも結果としてあるというのは事実でございます。しかしながら、パブリックコメントは市民の皆様からの貴重なご意見でございますので、全て市でしっかりと受け止めて、それに対してお返しするようにしていますので、今回のパブリックコメントにつきましても、決して一方通行ではないということをご理解いただきたいと思います。</p> <p>それから早いということについては、この課題が今まさに起こっていて、高平幼稚園も含めて園児数が減っている。三田市全体でさらに園児数の減少が顕著である園がある中で、やはり緊急の課題で早くしなければならぬと私どもは申しあげています。</p> <p>それと違うご意見もいろいろあるということは、本日お伺いしました。このままでいいのではないかというご意見もありましたし、もう少し検討すればというご意見もありました。しかしながら、その後どうやっていくのかということは決めていかなければなりませんので、ご意見を踏まえながら進めていきたいと思えます。</p> <p>最後に申しあげますけれども、決して強引に進めるというものではございません。しっかりと説明させていただいて、皆様にこの今の課題、なぜこのようなお話をさせていただかなければならないのかという状況について、ご理解いただいで進めてまいりたいと思えますので、よろしくお願いたします。</p>
P	<p>㊸高平で子育てをしたいという思いがあって、結婚を機に実家に戻って来ました。ここで子どもが生まれて、当然のように高平幼稚園に通うつもりで人生計画をしているのですが、歩いて通える距離にあった幼稚園がスクールバスで通わなければいけない。思い描いて</p>	<p>㊸貴重なご意見ありがとうございます。ご自身の体験も含めてお話いただきました。今の案が前提のお話でございますけれども、志手原につきましても、工事が必要ということで、このような計画案を描いているところでございます。このような形で進めるにあたりましては、当然子どもの気持ちや、ご自身で体験され</p>

	<p>いたこととは違うふうに進んでいます。今三田市がやろうとしていることが住民の人生を大きく左右することだという認識を持って、ただ上の方から下りてきた案件を業務的にこなすのではなく、しっかり住民の人生を考えて進めていただきたいと思います。</p> <p>この計画案を見ると志手原幼稚園が一時閉園になる時期があります。令和4年度に志手原幼稚園に通う4歳児は、一旦令和5年度には小野幼稚園に行かなければいけない状況になる。令和5年度に4歳児だった子どもは、令和6年度に新しい園舎の志手原に行くことになり、大きく状況が変わります。私自身も年少、年中にあたる年代のときに大舟保育園に通っていましたが、統廃合の結果、第1期生として年長で高平幼稚園に入園しました。自分自身もかなり大きなショックがあったことを記憶しています。まさに私の子どもは令和5年度に4歳児になると高平幼稚園に通って、令和6年度に5歳児になると志手原幼稚園に通うことになり、私と同じように三田市の方向転換によって大きく生活スタイルが変わるということになります。</p> <p>もし仮にこれが決まっているのであれば、それは仕方がないことではありますが、そういう住民の生活が大きく変わるということになるのはしっかり認識を持って取り組んでいただきたいと思います。</p>	<p>たところにつきまして、どのような手立てができるかをしっかりとわきまえて進めてまいりたいと思います。</p>
Q	<p>㊸先ほどの統廃合による体験の話から、幼いときに衝撃を受けた印象がまだ残っている、そういう感情がまだあるというのを聞いて、やはり子どもはいろんなところに行くことについて考えたり感じたりしていると思いますが、先のご意見があったように子どもに判断能力がないと市長が言われたのですか。本当に言われたのであれば、そういう方がトップとして、三田市を仕切ってこういう問題を考えておられることはどうかと思います。多分、前にいらっしゃる方は賛成であれ反対であれ、一生懸命意見を聞いて、意見を持って帰って検討しようという様子はわかりますが、そういうトップの方がいらっしゃるのは、話がこれからきちんと進んでいくのかと不安を感じました。</p>	<p>㊸市長がどの場面でどういう話をしておられたのか、記録も今持ち合わせていませんが、少なくともその話には前後の流れがあり、とり方が全く異なってくる場合もありますし、そもそもそういう言い方をされたかどうかというのがあります。今ここでご発言がありましたが、確認する必要がありますし、少し切り取った部分だけでご判断されるというのは問題もあると思いますので、その点をご理解いただかないといけないと思っています。</p> <p>今の部分については、おそらく教育委員会の話の流れの中でご発言されて、当然公の場であれば、議事録等も出ていますので、その中で確認できると思います。切り取った部分だけでご判断されるということはお容赦いただきたいと思います。言葉そのものも、間を介してニュアンスが変わってくることも中にはありますので、そこは慎重にご判断いただく必要があると思いますので、今ここでその部分についての議論は差し控えさせていただきたいと思います。</p>

		<p>※（後日、令和2年1月15日に開催の「市民と市長との「ほっとトーク」～高平地区～」会議録の市長発言を確認）</p> <p>中学校再編に関する質問の中で、「一番には子どもを第一に、教育とは何のためにやるのか」というと当然子どものためだが、残念ながら子どもにはどういう教育を受けたらどうなるかという判断能力がないので大人がしっかり判断していかないといけない。」という発言であり、まず子どもたちの教育環境を大人がしっかり判断していかないといけないという発言の趣旨であった。</p>
R	<p>㊸最後にお願いしたいのは、この再編案を立てた気持ちで一新して考え直して、高平地区に認定こども園をつくる再編案を私たちに見せてもらいたいです。これだけ反対があるので、撤回していただいた上で、高平の地に認定こども園を、市街地の方を呼び込む案を1回立てていただきたいです。</p> <p>それもいろんな地区に向けていろんな再編案を立てていただいて、同じ話でずっと引っ張るよりもいろんな再編案を発表してください。</p>	<p>㊸今日いろいろと意見をいただきまして持ち帰りますと申しあげました。持ち帰るからには検討させていただきます。</p> <p>そういった中で、今おっしゃったようなことも一つのご意見でございますので検討させていただきたいと思います。</p>
C	<p>㊹今日は高平の魅力ばかりを皆さんに伝えたので、細部について話ができなかったのですが、例えば2号認定の人は5人、令和6年度だけは考えるということです。それ以降は、高平の人たちが保育園に入れる保証はどこにもないということです。細部についても意見はたくさんあると思います。冒頭申しあげた2時間で絶対に終わらないと思ったので、必ずもう1回してほしいということは強く思います。</p> <p>スライド8は高平幼稚園の写真です。高平幼稚園に「かまどマン」というのが来て、高平のお米を高平の子どもたちが高平の燃剤を使って自給自足でご飯を炊いた絵ですが、そのときは60人弱で6升の米が全部なくなりました。つまり子どもが一人一合食べたというケースもあります。</p> <p>何が言いたいかというと、今日ここにおられる方々に高平を1回見に来てほしいです。先々週ぐらいに幼稚園の運動会がありました、誰か来ようかなと思った方はおられますか。ちょっと覗きに行ってみようかと思われた方が誰かいるのかなと思って。高平幼稚園のことを考えてくださるのは本当に有り難いですが、それであれば</p>	<p>㊹時間も来ていますので、ご挨拶を兼ねて最後にお話させていただきます。</p> <p>議事録については本当に膨大で、全ての地域の議事録をこれから作成していかないといけないので、今お約束ができませんが、急ぎたいと思います。</p> <p>必ず次にまた場を設けたいと思います。これも私の責任でお約束をさせていただきます。</p> <p>私も幼稚園には機会があるごとに10園に行っていますし、市長も機会があれば一緒に行ったりもしています。時期がいつかわかりませんが、私もまた近々、子どもたちがいる間には行きたいと思います。</p> <p>もう一度誤解のないようにですが、市長の発言がこうであったというような決めつけでの発言については、慎重に取り扱っていただきたいと思います。市長は子どもたちにとって一番良い方法は何かということでこの間も議論していますし、今も議論していますので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>強引に進めるというような指示も一切出ておりません。丁寧に何度でも地域の方とお話をするようにというような指示も受けています。今日高平地域の方のさまざまな想い、ただ先ほど賛成の方もいらっしゃるということもありましたので、私どもとしては広く民意、市民の合意形成ということが必要になってきます。何よりも私どもが所管しているのは子どもとその家庭の支援をメインに動いており</p>

<p>1回、高平幼稚園の様子を見に来ていただきたい。</p> <p>もし皆さんが来られたときは、「かまどマン」が来て、高平の米を炊いて皆さんにご馳走すると思います。同じ釜の飯を食べながらやるのが私は最初の一步かなと思います。ギスギスした中で話をするのも大人だからいいのですが、触れ合って、あとは私たちが言ったことが本当であるとわかっていただいたうえで、次に進むとまた違うのかなと思います。</p> <p>議事録がいつできるかというのが質問です。</p> <p>リクエストとしては1回ぜひ来てご飯食べませんか。コロナ禍ですが、その辺のことを守りながら食べませんかというのが提案です。</p>	<p>ますので、そこに資する計画づくりを進めていきたいと思っていますので、今後ともご協力をお願いしたいと思います。</p>
--	---